

『三田市史』第1巻 通史編 I 目次

第一部 三田のあけぼの

第一部のあらまし

第一章 歴史の舞台としての市域の成り立ち

第一節 三田盆地—第四紀地史を奏でる舞台—

第二節 準平原と武庫川の穿入蛇行

第三節 三田地域の活断層と災害地震の記録

第四節 人々の生活と地形

1 遺跡地図にみる水害と地形

2 三田盆地の窯業遺跡と地形

3 古墳の立地と地形

4 福島大池の立地

第二章 考古学からみた歴史のあけぼの

第一節 文字のない時代の歴史

第二節 後期旧石器時代の三田

第三節 縄文時代の三田

第四節 弥生時代の三田

第五節 古墳時代の三田

1 古墳の分布と群集墳の構成

2 埋葬方法と副葬品の変化

3 終末期古墳の築造

4 律令時代への胎動

第二部 古代・中世の三田

第二部のあらまし

第一章 律令体制下の有馬郡

第一節 律令体制の成立

第二節 「摂津国租帳」の世界

第三節 律令体制の変容

第二章 源平の戦いと公武政権

第一節 荘園の成立と内乱

第二節 公武政権と荘園の動き

第三章 室町・戦国時代の動向

第一節 南北朝時代の三田市域

第二節 室町時代の三田市域

第三節 応仁・文明の乱とその後

第四節 戦国・織豊時代の三田市域

第五節 荘園と人々の暮らし

第三部 近世の三田

第三部のあらまし

第一章 近世初期の三田

第一節 畿内のなかの三田

第二節 山崎・有馬氏の古城

第三節 一国一城令と松平氏三田藩の侍町

コラム1 小寺家旧蔵資料

第四節 初期の農村

1 太閤検地

2 有馬増高

3 幕領・松平領時代の三田の農村

第二章 藩政の成立

第一節 三田藩政の成立

1 水軍、陸にあがる

2 大名九鬼氏

3 三田藩政の確立

コラム2 参勤交代

第二節 九鬼氏三田侍町の成立

- 第三節 三田町の成立と住民構成
- 第四節 麻田藩領の成立
  - コラム3 麻田藩の史料
- 第五節 成立期の農村構造
  - 1 近世村落の成立と展開
  - 2 近世前期の家と家族
  - 3 近世前期の村の構造
- 第六節 村の存立基盤と諸争論
  - 1 山野の利用と山論
  - 2 土砂留普請と村
- 第三章 藩政の展開
  - 第一節 転換期の三田藩
    - 1 十八世紀の藩政機構
    - 2 転換期の藩政を担う武士
    - 3 財政再建への挑戦
  - 第二節 三田町の構造と三輪町
    - 1 十丁町と三輪村の新町
    - 2 三田町の人足役・地子米と町入用
  - 第三節 三田藩年貢米の地払制と魚肥流通の展開
    - 1 大蔵米の地払制
    - 2 魚肥流通の展開
  - 第四節 麻田藩政の展開
    - 1 麻田藩財政改革と郷方
    - 2 多田郷の結合と費用の割付
  - 第五節 村のたたずまい
    - 1 村のすがた
    - 2 村落自治と農民の意識
  - 第六節 近世農村の展開
    - 1 年貢と諸掛
    - 2 農村・農民の変化
    - 3 安永の強訴とその後
- 第四章 幕末維新期の政治と社会
  - 第一節 幕末維新期の三田藩
    - 1 天保～嘉永期の三田藩
    - 2 文久期の改革
    - 3 神崎川筋海防警備
    - 4 慶応期の三田藩
  - 第二節 幕末維新期の三田町社会と金物業
    - 1 南町東組鍵屋朝野家の金物商
    - 2 大坂・三田間の金物物流ルートと町飛脚の役割
    - 3 幕末維新期の三田町社会
  - 第三節 天保期の麻田藩政と大根屋改革
    - 1 大根屋改革への動き
    - 2 海防警備
    - コラム4 発掘調査された麻田藩の陣屋跡
  - 第四節 諸産業の展開
    - 1 農林業の展開
    - 2 諸職・諸稼ぎの拡大
    - 3 諸製造業の展開
    - 4 土取りと立杭焼
  - 第五節 幕末維新期における農村の動向
    - 1 混沌とする社会
    - 2 村の構造変化と地主小作関係
    - 3 村社会の動向
    - 4 近代への胎動

## 第五章 近世の人とくらし

### 第一節 家と生活文化

- 1 「家」の諸相
- 2 子どもの成長
- 3 女性の一生

### 第二節 芸能と寺社

- 1 享受された芸能
- 2 開帳と諸文化
- 3 江戸時代の寺社

### 第三節 江戸時代の名所と旅

- 1 江戸時代の地誌類と三田地域
- 2 江戸時代における名所の展開
- 3 江戸時代の信仰に関わる旅